



株式会社UKCホールディングス
株主様へのご案内

証券コード：3156

2016年度第2四半期(第8期)
2016年4月1日～2016年9月30日

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会：毎年3月31日
剰余金の配当の基準日	期末配当：毎年3月31日 ※中間配当を実施するときの基準日は9月30日
定時株主総会	毎年6月開催
公告方法	電子公告により行う。 公告掲載URL http://www.ukcgroup.com/ ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
ホームページ	http://www.ukcgroup.com/
証券コード	3156
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物送付先(連絡先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711

【お知らせ】

●住所変更・単元未満株式の買取等のお問い合わせ先について
お取引口座のある証券会社にお問い合わせください。

●特別口座に記録された株式に係る各種手続きについて
下記の特別口座管理機関にお問い合わせください。
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-232-711

●未払配当金のお支払いについて
支払期間経過後の配当金につきましては、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社全国本支店でお支払いいたします。
ご郵送の場合は上記郵便物送付先までご送付ください。

株式会社UKCホールディングス
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番2号
ゲートシティ大崎イーストタワー15階
TEL 03-3491-6575 FAX 03-3491-7825
<http://www.ukcgroup.com/>



株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
また、平素からの皆様のご支援、ご高配に厚く御礼申し上げます。

代表取締役社長

福井 幸男



当第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日～9月30日）の当社グループにおきましては、急激な円高と熊本地震の影響により、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益とともに前年同期比で減少いたしました。

下半期につきましては、円高ながら為替レートは安定傾向にあるとともに、足もとのお客様の需要動向も堅調であることから、収益性の改善を見込んでおります。当社グループとしましては、迅速な経営判断のもと、引き続き効果的・効率的な事業運営に努めてまいります。

さて、当社グループの主力であったデジタルカメラやスマートフォン市場の成長は縮小、鈍化傾向にあります。引き続き、同市場からの収益・利益の最大化を図りますが、グループとして一段の成長を遂げるためには、新しいエンジンが必要となっています。その一例が、今号のトピックスで特集しました産業・通信機器や医療機器市場の開拓です。同市場向けの製品群の拡充により、種まきの段階はほぼ終わりましたので、それを育て、果実を収穫するべく、経営資源を傾注してまいります。

それに加えて、半導体や電子部品単体を売るだけでなく、ボード・モジュールビジネス、EMS（電子機器受託製造サービス）、データサービスのような付加価値の高い事業を強化することにより、半導体・エレクトロニクス業界の転換期に勝ち残りを図る所存です。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

UKCグループの業績をご報告します

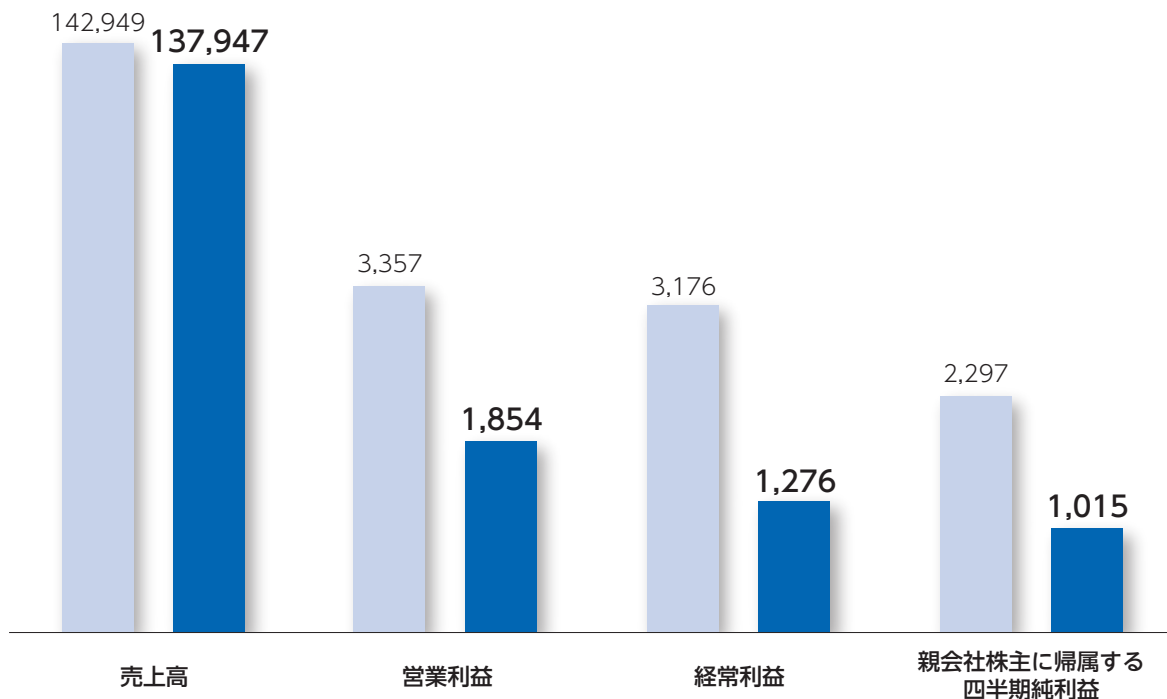
より詳細な情報は当社ホームページへ

UKC 決算短信

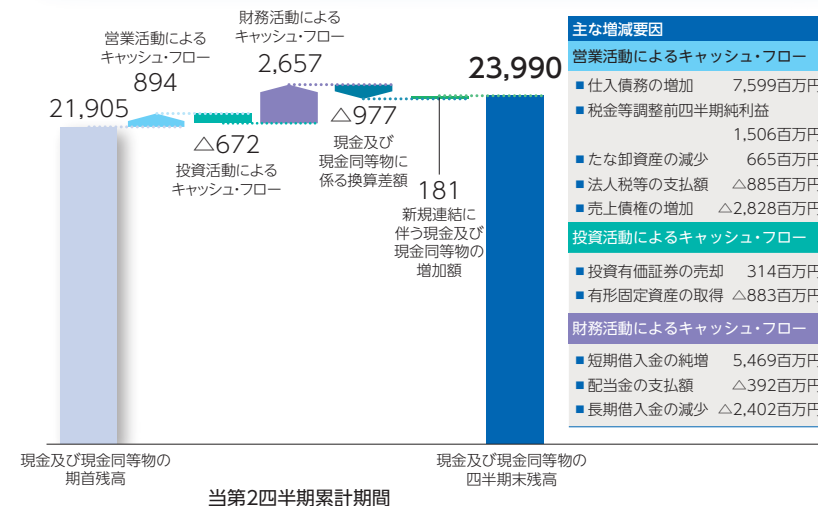
検索

◆ 四半期連結損益計算書 (単位：百万円)

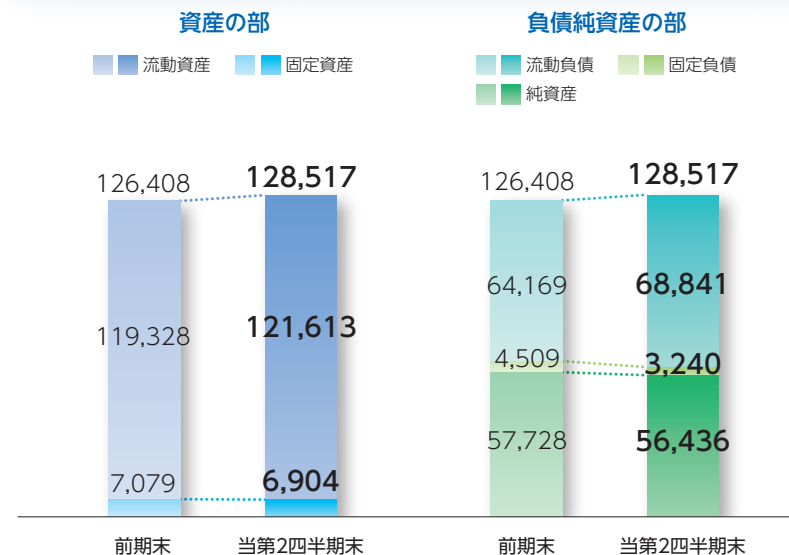
前第2四半期累計期間 当第2四半期累計期間



◆ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)



◆ 四半期連結貸借対照表 (単位：百万円)



POINT

前年同期比

△50億円
(△3.5%)

ポイント

急激な円高に加え、熊本地震の影響もあり前年同期比減

POINT

前年同期比

△15億円
(△44.8%)

ポイント

急激な円高傾向に伴うドル建て取引の原価率悪化等により前年同期比大幅減

POINT

前年同期比

△19億円
(△59.8%)

ポイント

急激な円高傾向に伴う為替差損の拡大もあり前年同期比大幅減

POINT

前年同期比

△12.8億円
(△55.8%)

ポイント

投資有価証券売却益(特別利益)はあったものの経常利益の大幅減益に伴い前年同期比大幅減

UKCグループのセグメント別業績状況

UKCグループは、ソニー製を中心とした半導体及び電子部品並びに電子機器等を取り扱うエレクトロニクス商社です。

事業セグメントは、イメージセンサーやタッチパネル及び液晶パネル関連部材の取扱いを中心とする半導体及び電子部品事業、放送用カメラをはじめとする業務用製品の取扱いを中心とする電子機器事業、NFC[※]・Felica対応の非接触ICカード関連製品の取扱いを中心とするシステム機器事業の3部門に分かれます。競争力のあるこれらの取扱い製品に、専門エンジニアリング組織によるきめ細かな技術サポート、EMS(電子機器受託製造サービス)、半導体・電子部品の信頼性試験や環境物質分析サービスを組み合わせることにより、お客様に満足いただけるソリューションを提供しております。

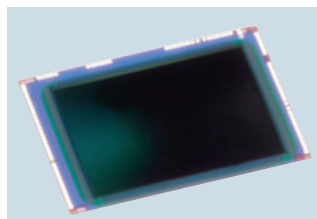
※Near Field Communication：近距離無線技術の国際標準規格。ソニー規格Felicaとの下位互換性を持つ。

半導体及び電子部品事業 売上高構成比 93.7%

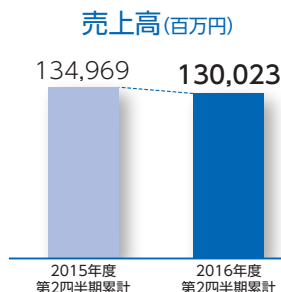
事業セグメント業績状況

半導体及び電子部品事業におきましては、円高の影響に加えて、熊本地震の影響による一部製品の販売機会損失もあり、減収となりました。セグメント利益は、急激な円高の進展に伴うドル建て取引における仕入時と販売時の為替レートの差異により、原価率が悪化したことや市場競争の激化等の影響により、大きく減少しました。

以上の結果、売上高は1,300億23百万円(前年同期比3.7%減)、セグメント利益は18億80百万円(前年同期比45.7%減)となりました。



スマートフォン等の携帯電話向けに採用されているソニー製イメージセンサー



電子機器事業

売上高構成比 5.3%

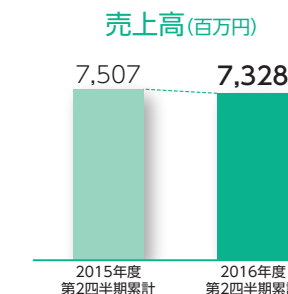
事業セグメント業績状況

電子機器事業におきましては、オリンピック関連やメディアカル関連のビジネスは好調だったものの、熊本地震の影響による監視カメラ製品の調達難等により減収となりました。セグメント損失は、利益率の向上により、わずかに改善しました。

以上の結果、売上高は73億28百万円(前年同期比2.4%減)、セグメント損失は30百万円(前年同期は31百万円のセグメント損失)となりました。



「Inter BEE2015」にグループ会社の共信コミュニケーションズが出展



システム機器事業

売上高構成比 1.0%

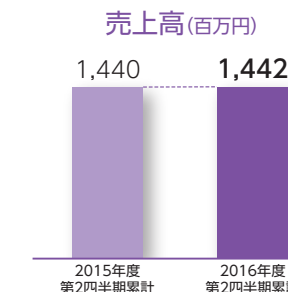
事業セグメント業績状況

非接触ICカード関連事業におきましては、電子マネー関連ビジネスの商談は引き続き活況に推移しているものの、一部ビジネスの下期シフトもあり、減収となりました。その一方で、半導体及び電子部品の信頼性試験・環境物質分析サービス事業におきましては、車載向け等受注増により、増収となりました。セグメント利益は、利益率の向上により増益となりました。

以上の結果、売上高は14億42百万円(前年同期比0.2%増)、セグメント利益は93百万円(前年同期比186.5%増)となりました。



専用カードをNFCにかざすと抽選でポイントがもらえる「auショップ来店ポイント端末(au WALLET ウェルカムガチャ)」



会社概要 (2016年9月30日現在)

商 号	株式会社UKCホールディングス (英文名：UKC Holdings Corporation)																
本 社	東京都品川区大崎一丁目11番2号 ゲートシティ大崎イーストタワー15階 TEL 03-3491-6575 FAX 03-3491-7825																
設 立	2009年10月1日																
資 本 金	43億83百万円																
事 業 内 容	各種半導体・電子部品、電子機器、システム機器販売事業、半導体等の信頼性試験・環境物質分析サービス及び、EMS事業等を営むこと、並びにこれらの事業を営む会社の株式又は持分を保有することにより、当該会社の事業活動を支配・管理すること																
従 業 員 数	単体259名 連結1,726名																
取 締 役 及 び 監 査 役	<table> <tr> <td>代表取締役社長</td><td>福寿 幸男</td></tr> <tr> <td>代表取締役副社長</td><td>田口 雅章</td></tr> <tr> <td>取締役</td><td>井上 充治</td></tr> <tr> <td>取締役（社外）</td><td>大根田 伸行※</td></tr> <tr> <td>取締役（社外）</td><td>島崎 憲明※</td></tr> <tr> <td>常勤監査役</td><td>森田 清文</td></tr> <tr> <td>監査役（社外）</td><td>坂倉 裕司※</td></tr> <tr> <td>監査役（社外）</td><td>松村 幸祐</td></tr> </table> ※東京証券取引所の定める独立役員として届け出ております。	代表取締役社長	福寿 幸男	代表取締役副社長	田口 雅章	取締役	井上 充治	取締役（社外）	大根田 伸行※	取締役（社外）	島崎 憲明※	常勤監査役	森田 清文	監査役（社外）	坂倉 裕司※	監査役（社外）	松村 幸祐
代表取締役社長	福寿 幸男																
代表取締役副社長	田口 雅章																
取締役	井上 充治																
取締役（社外）	大根田 伸行※																
取締役（社外）	島崎 憲明※																
常勤監査役	森田 清文																
監査役（社外）	坂倉 裕司※																
監査役（社外）	松村 幸祐																

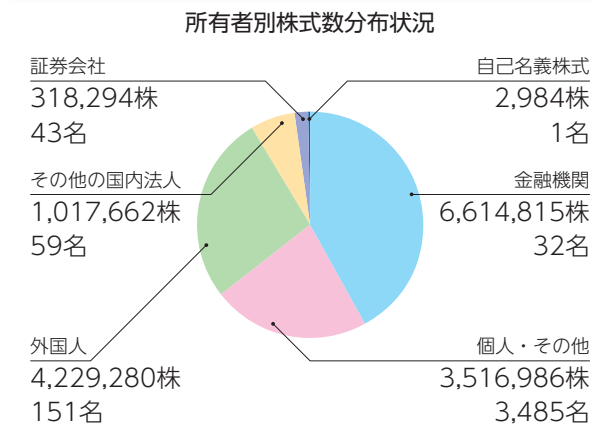
株式の状況 (2016年9月30日現在)

発行可能株式総数	57,000,000株
発行済株式総数	15,700,021株
株主数	3,771名

大株主

株主名	株式数 (千株)	持株比率 (%)
みずほ信託銀行(株) 退職給付信託ソニー株003口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行(株)	2,234	14.23
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	1,404	8.94
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	699	4.45
みずほ信託銀行(株) 退職給付信託東京都民銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行(株)	623	3.97
(株)三菱東京UFJ銀行	496	3.16
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	419	2.66
中山 邦子	374	2.38
(株)みずほ銀行	370	2.35
明治安田生命保険(相)	295	1.88
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	272	1.73

株式分布状況



トピックス

UKCグループの製品展開

当社グループは、海外シフトを含む日本・韓国メーカーを顧客とした民生・通信用途の半導体・電子部品販売、電子機器販売、EMS事業を主たる事業領域としてきました。中期的に、事業領域を顧客軸、用途軸、機能軸で広げていくことで、利益を伴う成長の実現を図っています。

ここでは、用途軸のうち、産業・通信機器や医療機器市場向けの具体的な取り組みについて、新しい仕入先、製品群もまじえ、ご紹介します。同市場はスマートフォン市場等と比較すると規模は小さいですが、比較的安定しており、高付加価値が獲得できる特長があるため、当社グループは同市場にフィットする製品の開拓、拡販に注力することで、中期的には利益の一つの柱にしたいと考えています。

◆ Lumentum社

Lumentum社は、米国・カリフォルニア州ミルピタスに本社をおく通信市場向け光コンポーネント及びサブシステムならびに産業用レーザーのグローバルリーダーです。当社グループは、産業用レーザーを製造加工装置メーカー等に、光通信用システム/モジュール/コンポーネントを通信機器メーカー等に納入しています。また、3Dセンシング用レーザーは車載用LIDARやジェスチャー認証、ゲーム（仮想現実）機器や携帯端末用途に非常に有望な製品です。お客様への価値提案により、新たな需要、市場を創造することで、中期的には100億円を超える売上を期待しています。

◆ congatec社

congatec社は、ドイツ・デッゲンドルフに本社をおく産業機器や医療向けのボード・コンピュータ製品のメーカーです。当社グループは、産業（FA、交通システム、一般産業用機器）、ゲーミング・プラットフォーム、POS/サイネージ、医療（超音波、CT、MRI）市場へ拡販を行っています。

◆ Super Micro Computer社

Super Micro Computer社は、米国・カリフォルニア州サンノゼに本社をおく産業用ボードPCメーカーです。当社グループは、監視、FA、データセンター、遊戯機器市場へ拡販を行っています。

◆ Sensirion社

Sensirion社は、スイス・ステューファに本社をおく温湿度、ガス・液体流量の測定及び制御用の高品質センサーのメーカーです。同社の液体流量センサー、メーターは毎分ナノリットルレベルの微小流量の検出が可能のため、当社グループは医療機器市場への展開を推進しています。